

第 7 回 田辺市都市計画マスタープラン策定委員会 会 議 録

日時:平成 22 年 1 月 28 日(木)
14 時 00 分から 16 時 00 分まで
場所:青少年研修センター 3 階 会議室

1. 開会

(1) 田辺市建設部 より挨拶

田辺市建設部	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は、第 7 回田辺市都市計画マスタープラン策定委員会にご参集下さいまして、誠にありがとうございます。 ・平成 20 年 11 月から始まりまして過去 6 回の委員会を通し、皆様の貴重なご意見を頂きながら進めてまいりましたが今回で区切りとさせていただきます。 ・今回は昨年 11 月に募集した市民の皆様の意見を反映した資料を作成いたしました。 ・皆様の活発な議論をいただくことをお願いし、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。
--------	--

(2) 委員長あいさつ

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 20 年 11 月から進めてまいりましたが今回で最終となります。 ・市民の皆様や委員の皆様の意見を反映したマスタープランを作成してきたと思います。 ・みなさんの活発な議論を頂ければと思います。
-----	--

2. 議事

(1) 策定委員会(第 6 回)の内容について

(資料) 第 6 回 田辺市都市計画マスタープラン策定委員会 会議録

《質疑応答》

- 特になし -

(2) 意見募集結果について

(資料) 田辺市都市計画マスタープラン(案)についてのご意見募集結果について 資料

《質疑応答》

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意見募集について 2 週間で 2 名しか市民の意見が寄せられなかった。 基本的にはあまり知られていないのではないかと。2 名だけのままで良いか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の意見は少ないようにも思えるが、とても貴重な意見だと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報紙、市のホームページ、新聞記事等で掲載しており、情報発信は努めた。専門的な内容であるため意見が少なかったのではと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私も少ないと思った。市民の方の投書「都市計画区域拡大に疑問」が新聞に掲載されたが、記事が掲載されたのは市民意見募集結果を回答した後か前か？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・回答はホームページ上で掲載しているが、12 月 21 日に回答している。新聞に投書されたのは年明けの 1 月である。

委員	・これでよしとするならそれで良いが、以前、「複合文化施設」の案件の場合は、40件以上の意見があったと思う。
事務局	・事務局としては今年度内に策定するスケジュールを進めており、予定どおり進めていきたい。 ・意見が少なかったのは、テーマが「複合文化施設」に比べ少し専門的で身近でないことが理由の一因ではと考えている。 ・個別の意見は別々に伺う体制があるので、策定作業を先に進める。
委員長	・意見は少数だが、十分な広報を行ったとして、個別の意見も伺いながら進めるということにする。

(3) 策定委員会メンバーの一覧表の掲載について

(資料) 田辺市都市計画マスタープラン策定委員会のメンバー一覧表 資料

〈質疑応答〉

- 特になし -

(4) 策定委員会(第7回)資料について

(資料) 田辺市都市計画マスタープラン策定委員会(第7回) 資料

〈質疑応答〉

委員	・マスタープランが完成した後、市民がどう使うのかを示さなければ意味がない。
事務局	・「都市計画マスタープランの意義と施策への展開」で行政の姿勢を説明している。 ・「総合的な協働体制の構築」で行政と住民と事業者の役割などを示している。
委員長	・市民の方にマスタープランの存在を知ってもらい、このプランを適切に使わないと意味がないと私も思う。この委員会は今回が最後であり、他にご意見いかがでしょうか。
委員	・総括的な話だが、この2年間で感じることは、行政の部署別の縦割りは専門性では効率的だが、専門別に分かれているため連携が難しい。 ・市民目線のまちづくりは、経済や産業など総合的な観点が必要である。このため、上位計画である総合計画などは大切である。 ・まちづくりは様々な分野と絡み合っているため、都市計画分野だけでは限界がある。今後、総合的な検討体制が必要だと思う。そしてその結果は市民から賛同されるものでなければならない。
委員	・市民意見募集で、意見があった2名の年齢はおそらく50~60代かと思うが、働き盛りの20~30代は忙しくて応募しにくい。今後も市民の意見は、いつでも聞ける体制づくりをしてほしい。 ・高校生アンケート結果が目をついた。高校生の市外への流出の意見が多く、衝撃的だった。
委員長	・意見募集やアンケートでは聞き出せない本来の住民の潜在的意見を掘りおこす必要があるということだと思う。
委員	・民間の商品計画には多くの市場調査等を行う。行政の計画づくりでは、多くの意見を集める方法論を検討することが必要だったと思う。今後、情報公開の方法論については、十分な議論が必要だと思う。
委員長	・マスタープランを商品とみるならば、住民に商品売り込む方法論を十分に議論する必要があるとの意見だと思う。 ・マスタープランを浸透させるための方法の1つとして、シンポジウムの開催等も考えられる。

委員	・田辺市マスタープランがどういう計画なのか、又は、特徴などを簡単に説明する際に、説明の仕方が良くわからない。
委員長	・マスタープランを一言で言うなら、「まちづくりの目標」ではと思う。田辺市をより良く若者に引き継いでいくための計画であると思う。
事務局	・事務局としても委員長と同感であり、まちづくりの目標を目指し、様々な施策を記載している。マスタープランの内容を伝えやすくするために、パンフレット（概要版）を作成する予定である。
委員	・都市計画区域の見直しを掲げた成果は大きい。今後は住民によく説明し、理解を得ながら、都市計画税のことも併せて具体の検討作業などを進めていくことを期待する。
委員	・パンフレット（概要版）により、周知徹底の上、これを充分活用して欲しい。
委員	・これだけの資料をまとめられた事務局の労をねぎらう。本当はもっと夢がある内容が欲しいが、行政において、できないことは書けないということは理解している。行政とは別に、できなくてもいい夢が詰まった場があってもよいのではと思った。若い住民が夢ある計画をつくり、行政に提案するようなことができれば、非常に良いと思う。
委員	・庁内作業部会を実施したと思うが、これまでにない行政の取り組み方など発想をかえてやって欲しい。市民と商工会などの団体との連携が重要であり、互いに協力しながら、組織づくりとその運営の仕掛けを作り上げて欲しい。
委員	・田辺市は広く、行政の方も大変であると感じている。農業の後継者問題をはじめ右肩下がりの農業において、何か打開するものはないかといつも考えている。
委員	・これまで現実的な事柄を扱う会議が多く、こうした会議は、はじめてであり、いまでも戸惑いを感じている。
委員	・働き場所があり、若者が田辺に住みつつけられるようなまちづくりを望んでいる。
委員	・重要な方針がこの冊子に集約されていると思う。これからは実行していく段階になるが、建設的に前向きに実行できればと思う。力を合わせてがんばりましょう。
委員	・マスタープランが一般市民に簡単に目に入るような状態にしてもらうことが重要であり、工夫して欲しい。
委員	・下水事業などの大きな事業は、その良し悪しの結果が出るのに10年以上かかるケースもある。今直ちに成果はわからなくても、将来、この計画の方針に従い実施すれば、いい結果が得られると思う。意義のある会議だった。
委員	・行政関係者にとっては、マスタープランはバイブルになると思う。記載されている内容については、他に比べ優先順位は高いと考える。田辺市はまだまだ発展性のあるまちだと思う。観光についても同様な。
委員	・田辺市では、初めてのマスタープランの作成ということで、大変意義があると思う。 ・田辺市は、市民が、まちづくりに関し、よくがんばっていると思う。自分たちで盛り上げていこうという気運が感じられる。
委員	・「総合的な協働体制の構築」にもあるが、各役割が重要だと思う。基盤整備だけでは駄目で、まちの主役である住民（自分たち）がやる気を出さないといけないと思う。
委員	・あっという間に2年経った。バイブルなので建設的にやる必要がある。今後、これをどう使うかが課題だと思う。

委員	・一般公募で参加させていただいたが、いろいろと勉強になった。感謝している。
委員	・一般市民として、若輩の話を聞いてくれて感謝している。行政のこうしたプランを作るパワーを活かし、田辺をより良くするようにしてください。本当に田辺が好きで、今後も経験積んで何か役に立てればと思う。
委員	・資料もとても見やすかった。都市計画区域、用途地域の見直しなども注目していきたい。非常に勉強になった。
委員	・最後をお願いである。海、山、自然がある。この田辺市の財産を活用していただきたい。農業・林業・漁業等の体験交流を更に進め、それを通じて、子供たちに田舎と都会の価値の違いを印象づけることができればと思う。 ・この委員会のメンバーがひとつになれば、様々な可能性があり、何でもできると思う。マスタープランの内容にハートを吹き込むこと（具体化）ができればと思う。
委員長	・出来上がってプランに心を入れ込むことが重要だと思う。何か行動に移せればと思う。 ・2年間、貴重な時間を費やし、集まって頂き、ありがとうございます。これも何かの縁だと思うので、どこかで会えればと思う。

3. 閉会

事務局より挨拶

以上